
オプション

◆協賛企業ブース

清里ミーティングへご協賛いただいた企業様の紹介ブースを設置。



◆自由配布コーナー

参加者が自由にチラシやパンフレットを設置できるコーナーを設けた。



◆顔写真名簿

参加者が会いたい人を探せるよう、全参加者の顔写真を掲示。夜の情報交換会では、JEEF 理事が会いたい人を紹介してくれるコンシェルジュデスクを設けた。



◆リクルートコーナー

求人情報・求職情報を自由に貼り出せるコーナーを設置し、夜の情報交換会ではマッチングタイムを設けた。



◆フォーラムショップ

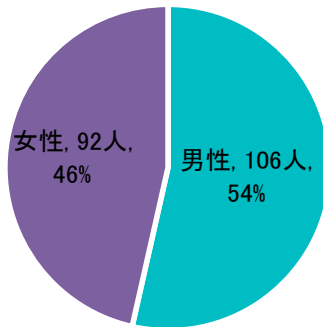
環境教育に関する教材・図書、エコロジーグッズなどの販売が行われた。



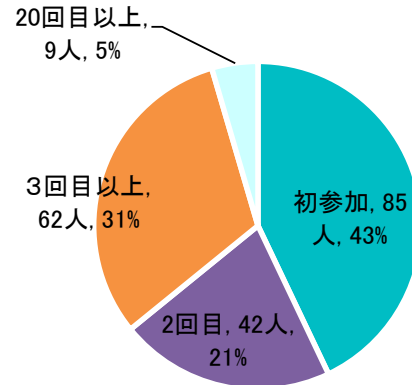
参加者データ

～データに見る清里ミーティング 2016～

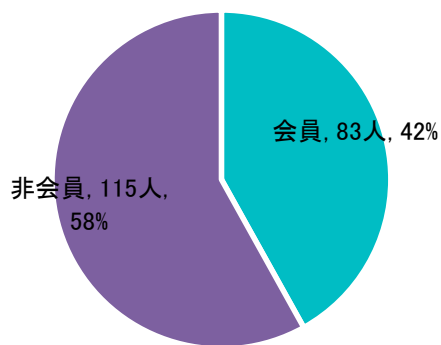
性別



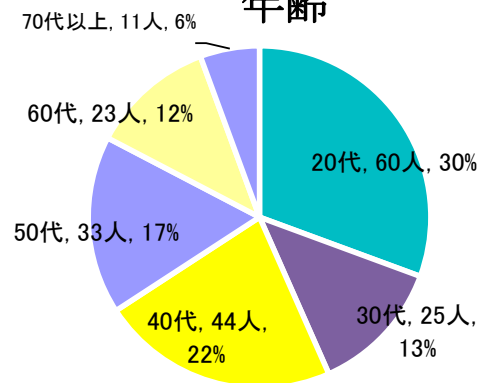
参加回数



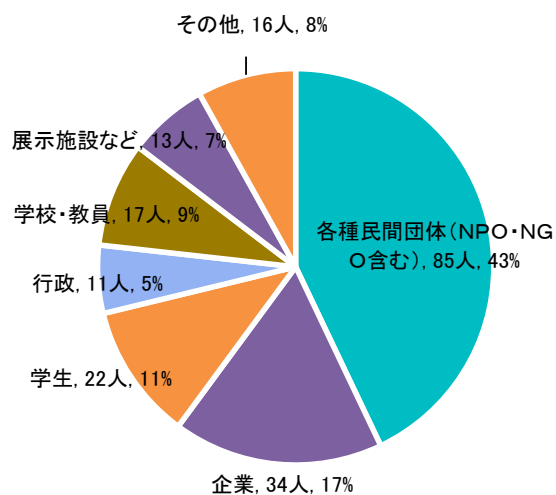
(公社)日本環境教育フォーラム 会員



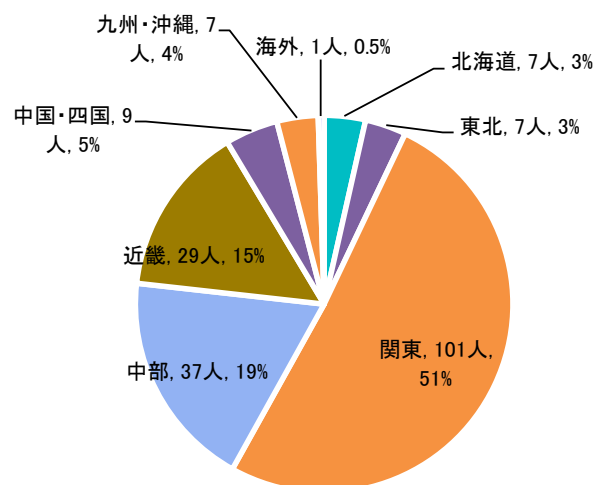
年齢



属性



地域



スタッフ・企画委員・ボランティア

スタッフ名簿

瀬尾 隆史	(公社) 日本環境教育フォーラム
京極 徹	(公社) 日本環境教育フォーラム
金久保 優子	(公社) 日本環境教育フォーラム
柴原 みどり	(公社) 日本環境教育フォーラム
小堀 武信	(公社) 日本環境教育フォーラム
清水 誠二	(公社) 日本環境教育フォーラム
中地 愛	(公社) 日本環境教育フォーラム
垂水 恵美子	(公社) 日本環境教育フォーラム
鴨川 光	(公社) 日本環境教育フォーラム
加藤 超大	(公社) 日本環境教育フォーラム
饗場 葉留果	(公財) キープ協会
伊澤 菜美子	(公財) キープ協会
石川 昌稔	(公財) キープ協会
岩渕 真奈美	(公財) キープ協会
江崎 淳一	(公財) キープ協会
小野 明子	(公財) キープ協会
川村 悦子	(公財) キープ協会
齋藤 園子	(公財) キープ協会
佐藤 陽介	(公財) キープ協会
志田 麻子	(公財) キープ協会
関根 健吾	(公財) キープ協会
高木 恭子	(公財) キープ協会
田村 のり子	(公財) キープ協会
鳥屋尾 健	(公財) キープ協会
中山 孝志	(公財) キープ協会
本田 晶	(公財) キープ協会
増田 直広	(公財) キープ協会
村井 孝一	(公財) キープ協会
村山 敬洋	(一社) 地域 ESD 事務所つむぐ

企画委員名簿

(五十音順、敬称略)

川嶋 直	(公社) 日本環境教育フォーラム
田之下 雅之	(株) T クラフト・プラス
星野 智子	(一社) 環境パートナーシップ会議
村上 千里	ESD 活動支援センター
森 高一	NPO 法人エコウィス™センター

ボランティアスタッフ名簿

(五十音順、敬称略)

岩崎 智佳	麻布大学
大垣 柚月	東京農業大学
大河内 友翔	関西学院大学
釜谷 優太	麻布大学
坂田 拓史	(有) 森の国
鈴木 奈美	立教大学
関野 真子	麻布大学
高橋 直樹	芝浦工業大学大学院
田渕 絵莉子	麻布大学
中澤 杏樹	都留文科大学
中西 恵基	関西学院大学
西尾 有香音	信州大学
濱崎 竜斗	東京コミュニケーションアート専門学校
樋口 桃子	横浜国立大学
古曾尾 胡桃	関西学院大学
光岡 駿	関西学院大学
山口 恭平	立教大学
山田 真希	大妻女子大学
吉田 直哉	麻布大学



清里ミーティング 2016 を支えてくれたボランティア
アスタッフの皆さん、ありがとうございました！

清里ミーティングこれまでの実績

第1回清里フォーラム

- 日時：1987年9月28日(月)～29日(火)
- 参加人数：93人
- 主催：清里フォーラム実行委員会
- 【分科会】①環境教育について（考え方とその論理）
②自然観察の中に今後とりこんでいきたいもの
③指導者とボランティアの養成を今後どうするか
④施設運営とコーディネーターの在り方について
⑤自然観察の有料化について
⑥清里フォーラムの将来性・方向性について
- ゲスト：加藤幸子（小池しぜんの子）

第2回清里環境教育フォーラム

- 日時：1988年11月13日(日)～15日(火)
- 参加人数：151人
- 主催：清里環境教育フォーラム実行委員会／(財)日本環境協会
- 後援：環境庁／山梨県
- 【分科会】
前半 ①学校と環境教育 ②地域社会と環境教育 ③施設と環境教育 ④自然観察と環境教育
後半 ①地域・開発と環境教育 ②施設と環境教育 ③人づくりと環境教育 ④市民・行政・企業・学校の協力
⑤企業と環境教育 ⑥学校と環境教育 ⑦企業と環境教育
- ゲスト：ロバート・ピナウィーズ（元ヨセミ国立公園管理事務所長）

第3回清里環境教育フォーラム

- 日時：1989年11月12日(日)～14日(火)
- 参加人数：168人
- 主催：清里環境教育フォーラム実行委員会／(財)日本環境協会
- 後援：環境庁／文部省／山梨県
- 【分科会】①小中高における環境教育カリキュラム
②若い世代に楽しいプログラムとは
③環境教育をうまく経営していくためには
④環境教育の場でボランティアが活躍できるためには
⑤環境教育で村おこしができるか
⑥大学における環境教育
- ゲスト：ジェームス・サノ（元マリナー・ディスカバリーズ専務理事）

第4回清里環境教育フォーラム

- 日時：1990年11月18日(日)～20日(火)
- 参加人数：163人
- 主催：清里環境教育フォーラム実行委員会／(財)日本環境協会
- 後援：環境庁／文部省／山梨県
- 【分科会】①学校教育 ②事業化
③プログラム ④人づくり
⑤施設 ⑥地域開発・村おこし
- ※この年4月より上記6つの研究部会が発足。
- ゲスト：ジョセフ・コーネル（ネイチャーゲーム考案者）

第5回清里環境教育フォーラム

- 日時：1991年11月17日(日)～19日(火)
- 参加人数：187人
- 主催：清里環境教育フォーラム実行委員会
- 後援：環境庁／文部省／山梨県
- 【分科会】①学校 ②事業化 ③プログラム
④人づくり ⑤施設 ⑥地域社会
- ゲスト：スティーブン・メドレー（ヨセミ・アソシエーション会長）

- *1992年9月 任意団体 日本環境教育フォーラム発足
- *1992年7月 「日本型環境教育の提案」発刊

日本環境教育フォーラム 清里ミーティング'92(通算6回)

- 日時：1992年9月19日(土)～21日(月)
- 参加人数：132人
- 主催：日本環境教育フォーラム設立準備会
- 後援：環境庁／文部省／山梨県
- 【紹介WS】①エコツアー報告・ヨセミ自然学校
②New School of Conservationにおける環境教育
③ペンギンリザーブ活動報告
④国際理解教育・資料情報センター活動紹介
⑤フィールドミュージアムごっこ
⑥環境教育国際セミナーに参加して
⑦成城学園における「散歩」「遊び」
- 【体験WS】①さあ、みんなでやってみよう！開発教育シミュレ

ーション

- ②エコロジーキャンプつまみぐいハイク
- ③ネイチャーゲーム入門
- ④もしフィールドでがをしたら
- ⑤PLTプログラムの紹介
- ①学校での環境教育
- ②地域に根ざした環境教育
- ③エコツーリズムの可能性とその問題点
- ④環境教育のプログラム教材開発
- ⑤指導者養成について
- ⑥エコマネジメントのしかた

日本環境教育フォーラム 清里ミーティング'93(通算7回)

- 日時：1993年11月14日(日)～16日(火)
- 参加人数：154人
- 主催：日本環境教育フォーラム
- 後援：環境庁／文部省／山梨県
- 【体験PRG】①ネイチャーゲーム ②死の準備教育の試み
③マインドクロッキー④パートナーシップへの挑戦
⑤究極の自然観察会 ⑥たずね鳥をさがせ
- 【分科会】①プログラム ②施設 ③学校
④人づくり ⑤企業 ⑥地域・自治体
⑦エコツーリズム ⑧海外の国立公園情報
- ゲスト：アン・ロベッタ（ストーリーテラー）

日本環境教育フォーラム 清里ミーティング'94(通算8回)

- 日時：1994年11月27日(日)～29日(火)
- 参加人数：167人
- 主催：日本環境教育フォーラム
- 後援：環境庁／文部省／山梨県
- 【体験PRG】①ネイチャーゲーム ②ファイブ・トリック
③森の宝箱をつくろう ④地球救出作戦
⑤枯れ木に花を咲かせましよう ⑥清里・冬物語
- 【分科会】①企業 ②エコツーリズム ③都市環境教育
④ネイチャートレイル ⑤自然学校
⑥ネイチャーライティング ⑦フォーラム塾
- ゲスト：ジョン・エルダー（ミドルベリー大学英語学・環境学教授）

日本環境教育フォーラム 清里ミーティング'95(通算9回)

- 日時：1995年11月25日(土)～27日(月)
- 参加人数：185人
- 主催：日本環境教育フォーラム
- 後援：環境庁／文部省／山梨県
- 【分科会】①自然学校としての施設づくり②行政・自然学校
③自然学校の経営を考える ④自然学校の人材育成
⑤自然学校のプログラム
- 【WS】①写真で環境教育 ②あなたにとって出会いとは何ですか
③環境教育を企画・プロデュースする
④ソフトクリーム姉ちゃんをねえ！
⑤未知なる可能性を求めて
⑥キープ・フォレストーズ・スクールⅡのプログラム体験
⑦ネイチャーゲーム、アジアと環境教育
⑧独特な日本人に有効な環境教育戦略は？
⑨アース・アート ⑩メディアワークショップ

日本環境教育フォーラム 清里ミーティング'96(通算10回)

- 日時：1996年11月16日(土)～18日(月)
- 参加人数：174人
- 主催：日本環境教育フォーラム
- 後援：環境庁／文部省／山梨県
- 【分科会】①自然学校の「事業化」
②自然学校でのプログラム
③地域振興と環境教育
④環境保全活動がそのまま環境教育
⑤エコツーリズムの様々な可能性
⑥JEEFの法人化など今後の可能性

【ワークショップ】

- ①ネイチャーゲーム入門講座
- ②ネイチャーエクスポアリング
- ③清里での川の環境教育を考える
- ④「子供であそぼう」についての御紹介
- ⑤元気がでる自然観察
- ⑥環境教育の本質を考える
- ⑦環境教育を企画・プロデュースする
- ⑧清里で「海の環境教育」を考えよう
- ⑨自然をテーマにしたスライドショー
- ⑩自分への気づきとNGO
- ⑪清里インターネット通信社へようこそ
- ⑫森だくさんの自然体験
- ⑬まちを遊ぼう
- ⑭未知なる可能性を求めて
- ⑮エコビレッジを作ろう
- ⑯アクティビティの“パクリとアレンジやローカライズ”

※1997年4月 環境庁主管の法人格を取得、社団法人日本環境教育フォーラム設立

【(社)日本環境教育フォーラム 清里ミーティング '97(通算 11 回)

- 日時：1997 年 11 月 15 日(土)～17 日(月)
- 参加人数：170 人
- 主催：社団法人日本環境教育フォーラム
- 主管：財団法人キープ協会環境教育事業部
- 協力：山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター
- 後援：環境庁／文部省／山梨県

- 【分科会】
- ①環境教育の指導者養成
 - ②環境教育の新しいプログラム開発
 - ③環境教育とまちづくり
 - ④環境教育の情報の発掘と提供
 - ⑤企業や行政とどのように組むのか？
 - ⑥新しい交流集会のスタイル

- 【WS】
- ①ネイチャーゲーム入門講座
 - ②自然と心・心とひとのコミュニケーション
 - ③環境教育の服装計画を考える
 - ④出たとこ勝負の自然観察会＋人間ウォッチング
 - ⑤環境教育を企画プロデュースする
 - ⑥環境教育と経営と税金
 - ⑦インタープリティブサインをつくらう
 - ⑧ディーブエコロジー・ミニワークショップ
 - ⑨フィリピン流！演劇ワークショップのすすめ
 - ⑩安全管理チェックリストをつくってみよう
 - ⑪ネイチャーエクスポアリングコースづくり
 - ⑫水辺でさがすいろいろなつながり
 - ⑬アクティビティと小道具
 - ⑭キープの自然体験プログラム
 - ⑮博物館をつくらう！
 - ⑯野外における企業研修の実践とその可能性

【(社)日本環境教育フォーラム 清里ミーティング '98(通算 12 回)

- 日時：1998 年 11 月 14 日(土)～16 日(月)
- 参加人数：176 人
- 主催：社団法人日本環境教育フォーラム
- 主管：財団法人キープ協会環境教育事業部
- 協力：山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター
- 後援：環境庁／文部省／林野庁／山梨県

- 【分科会】
- ①公共事業における環境教育の役割
 - ②森林・里山における環境教育と地域振興
 - ③アメリカの環境教育プログラムの日本への導入
 - ④動物と関わる環境教育
 - ⑤日本型エコツーリズムについて
 - ⑥メディアと環境、その先にあるもの
- 【ワークショップ】
- ①環境教育個人商店を考える
 - ②私のきもち、みんなのきもち、地球のきもち
 - ③21 世紀のインタープリテーションを求めて
 - ④おそらく やまんばの部屋
 - ⑤プロジェクトワイルド「水生生物」に学ぶ
 - ⑥エコマナーのすすめ
 - ⑦もし参加者が野外でケガをしたら
 - ⑧ネイチャーエクスポアリング
 - ⑨エコスビリチュアルワークの試み
 - ⑩アクティビティ大賞実施編・体験編
 - ⑪これまでの 50 年とこれからの 50 年
 - ⑫川を設計してみよう
 - ⑬「おもい」を「かたち」にはじめの一步
 - ⑭自然学校でめしが喰えるか

【(社)日本環境教育フォーラム 清里ミーティング '99(通算 13 回)

- テーマ：「学ぶ心・育つ力」
- 日時：1999 年 11 月 13 日(土)～15 日(月)
- 参加人数：185 人
- 主催：社団法人日本環境教育フォーラム
- 主管：財団法人キープ協会環境教育事業部
- 協力：山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター
- 後援：環境庁／文部省／林野庁／山梨県

- 【分科会】
- ①自然学校の運営を考える
 - ②「総合的な学習の時間」で学校と地域をつなぐ
 - ③都市型の生活環境をテーマにした遊び場づくり
 - ④森から見つめる川と海
 - ⑤エコツーリズム一歩前へ
 - ⑥見つめよう地域の里山、伝えよう里山の魅力
 - ⑦チルデンを越えろ！
 - ⑧教育を考える

- 【早朝 WS】
- ①カラスのきもち
 - ②朝のティータイム
 - ③きもちとキモチをつないだら
 - ④五感で感じよう清里の自然
 - ⑤オカリナ・ハナリナ体験教室

【(社)日本環境教育フォーラム 清里ミーティング 2000(通算 14 回)

- テーマ：「原点を見つめよう」
- 日時：2000 年 11 月 11 日(土)～20 日(月)
- 参加人数：171 人
- 主催：社団法人日本環境教育フォーラム
- 主管：財団法人キープ協会環境教育事業部
- 協力：山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター
- 後援：環境庁／文部省／林野庁／山梨県

【体験 PRG】

- ①野外での救急法を覚えよう
- ②ネイチャーウォッチング in 清里
- ③清里の晩秋を味わうキープ流自然体験
- ④心と体で感じよう！ネイチャーゲームが案内する清里

の自然

- ⑤竹を使ったものづくり
- ⑥羊の毛から糸つむぎ教室
- ⑦自分という自然に出会う
- ⑧Frog (カエル)
- ⑨プロジェクト・アドベンチャー

- 【分科会】
- ①自然体験活動における体験学習法
 - ②ゆったり楽しむ ノスタルジーワーク
 - ③虫を知る・入門
 - ④「センス・オブ・ワンダー」って何だ？
 - ⑤学校ビオトープの可能性
 - ⑥五感を使って楽しみながら自然探検
 - ⑦環境教育とスピリチュアリティ
 - ⑧企業・行政マン向け環境教育テキスト作り
 - ⑨自然学校の P R 活動を考える
 - ⑩Out of Treasure Boxes
 - ⑪民話・ことわざから考える日本人と川の関係
 - ⑫エコツーリズムのビジネスネットワークを考える
 - ⑬表現を楽しもう！「シアターゲーム」

- 【早朝 WS】
- ①遊び手遊び発見隊
 - ②センス・オブ・ワンダーの体験
 - ③地球と私の合作づくり“1 枚の葉”
 - ④見て、聴いて、感じて・・・朝の森でネイチャーゲーム
 - ⑤早朝ジョギングワークショップ
 - ⑥キモチときもちをつないだら

- スライドプレゼンテーション
- JEEF 理事による 3 分トーク

【(社)日本環境教育フォーラム 清里ミーティング 2001(通算 15 回)

- 日時：2001 年 11 月 17 日(土)～19 日(月)
- 参加人数：192 人
- 主催：社団法人日本環境教育フォーラム
- 主管：財団法人キープ協会環境教育事業部
- 協力：山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター
- 後援：環境省／文部科学省／農林水産省／林野庁／山梨県

- 【体験 PRG】
- ①清里の晩秋を味わうキープ流自然体験
 - ②初心者歓迎！清里の自然をネイチャーゲームで楽しもう
 - ③秋の味覚を楽しもう！
 - ④「ほっ♪」となるたき火講座
 - ⑤身体感覚講座
 - ⑥The Bear (ひぐまの生き方、暮らし方)
 - ⑦プロジェクト・アドベンチャー
 - ⑧やまねミュージアムへ行こう
- 【分科会】
- ①総合的な学習の教材として「拾ったもの(生きものに関連するもの)」を活用する
 - ②「いまどき」の子ども・「いまどき」の親 改造計画！
 - ③博覧会を環境教育という視点から評価する
 - ④ゆったり過ごすやまんば流ネイチャーワーク
 - ⑤ワークショップという新しい学び方をめぐって
 - ⑥朝からイキナリ！若者で語ろう！の会
 - ⑦小さな子どもたちのための環境教育の“技”をさぐる
 - ⑧地域の昔話を中心にした環境教育
 - ⑨農業と林業を語ろう！農業者と語る環境教育
 - ⑩Environmental Education in English
 - ⑪北九州博、きらら博で行われた環境教育プログラムはこれだ！
 - ⑫テロ・戦争に関してわかしあう
 - ⑬環境教育基礎講座
 - ⑭GEMS の体験プログラム
 - ⑮自然学校で働くこと
 - ⑯センス・オブ・ワンダー
 - ⑰ネイチャーエクスポアリングライトの体験と総合的な学習の時間に活かせる活動事例
- ⑰田んぼから生まれる日本型環境教育

- 【早朝 WS】
- ①センス・オブ・ワンダーを楽しむ
 - ②早朝ジョギングワークショップ
- スライドプレゼンテーション
- 参加者による 3 分トーク「ここが変だよ！環境教育」

【(社)日本環境教育フォーラム 清里ミーティング 2002(通算 16 回)

- テーマ：「胎動」
 - 日時：2002 年 11 月 16 日(土)～18 日(月)
 - 参加人数：182 人
 - 主催：社団法人日本環境教育フォーラム
 - 主管：財団法人キープ協会環境教育事業部
 - 協力：山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター
 - 後援：環境省／文部科学省／国土交通省／林野庁／山梨県
 - 環境教育ミニレクチャー
 - ヨハネスブルグ・サミット報告
 - 参加者による 3 分トーク「環境教育 次のキーワードはこれ!?」
- 【ワークショップ】
- ①地域通貨ってなんだろう？

- ②折り紙を使った環境教育の試み(3)
 - ③幼稚園、保育園に環境教育を導入しよう
 - ④環境問題、エコロジカルアートからの試み
 - ⑤環境教育指導者と研究者、カリキュラム開発者のつながりを作ろう
 - ⑥体験主義を超えて・・・プロジェクト・ワイルドの世界
 - ⑦「自然の中で働く男性はオバチャン度が高い??」を証明したい!!
 - ⑧未来へ、世界へ、感動をどうつなぐのか
 - ⑨ひよこのキモチ
 - ⑩モアイは何を見たか
 - ⑪Environmental Education in English
 - ⑫持続可能な開発と環境教育
 - ⑬森の交響サイン計画づくり
 - ⑭サロンの語り場
- 【早朝 WS】 ①早朝ジョギングワークショップ
②清里ミニガイドツアーA
③清里ミニガイドツアーB
④モンゴル茶で朝を迎えよう
⑤清里ミニガイドツアーC
- スライドプレゼンテーション

(社)日本環境教育フォーラム清里ミーティング 2003(通算 17 回)

- キーワード：持続可能な開発のための教育
■日時：2003 年 11 月 15 日(土)～17 日(月)
■参加人数：208 人
■主催：社団法人日本環境教育フォーラム
■主管：財団法人キープ協会環境教育事業部
■協力：山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター
■後援：環境省／文部科学省／国土交通省／林野庁／山梨県
- 【全体会】
・科学と環境教育をつなぐミーティング（前夜祭）の報告
・環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律
- ・持続可能な開発のための教育（ESD）
・スライド&トークーオローニの日々ー
- 【WS&体験 PRG】
①ワラっていいとも
②社会教育ゲーム体験プログラム 投資意志決定ゲーム Chemical
③参加型オンラインデータベースを使った「つながる」体験活動の試み/AM
④総合学習への NPO 参画が期待されているけど、実現が難しいのは何故？
⑤エコ・ネイションゲーム
⑥忙しい!!! けど前向きに レベルアップシートを作ろう
⑦科学するココロを育てよう！
⑧参加型オンラインデータベースを使った「つながる」体験活動の試み/PM
⑨野生生物教育の現状と課題
⑩フォーラム企業部会をリセットして、今後の方向性を考えよう！
⑪「持続可能な人」づくり
⑫開府 400 年！ 江戸町民の循環型社会から学ぶごみ減量大作戦
⑬どうなる？どうする？ 日本環境教育フォーラムの未来
⑭子育てという環境
⑮地方発！食農発信！
⑯環境教育の中の行政の役割を考えよう！
- 【早朝 WS】
①センス・オブ・ワンダー
②清里ミニガイドツアー 富士山とせせらぎの小径コース
③清里ミニガイドツアー ぬしの木コース
- スライドプレゼンテーション

(社)日本環境教育フォーラム清里ミーティング 2004(通算 18 回)

- キーワード：「持続可能な開発のための教育の 10 年」夜明け前
■日時：2004 年 11 月 13 日(土)～15 日(月)
■参加人数：187 人
■主催：社団法人日本環境教育フォーラム
■主管：財団法人キープ協会環境教育事業部
■協力：山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター
■後援：環境省／文部科学省／国土交通省／林野庁／山梨県
- 【全体会】
・「持続可能な開発のための教育の 10 年」夜明け前
・「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」を考える
- 【WS&体験 PRG】
①エコツアーリズムという生き方
②科学と環境教育
③地場産小麦でパンをつくらう！
④環境立国 エコ・ネイションゲーム
⑤「センス・オブ・ワンダーからグリーンコンシューマーへ」～第 1 回清里「エコ商品コンテスト」～
⑥持続可能な地域づくりにつながるネイチャーゲーム体験
⑦体験学習への扉をひらく(午前の部)
⑧自然学校の動きと人材養成
⑨環境教育 in 国際協力 最前線！
⑩環境教育基礎講座「環境教育と自然体験」
⑪酵母を育てて、パンを作ろう！
～酵母が教えてくれる、命、自然とのつながり～

- ⑫石器時代に接近！モノはこうして作る ～シエラカップ～
 - ⑬いのちを伝える自然体験
～自分流健康な生きかたを学ぶ～
 - ⑭ボードゲーム型の環境教育プログラム
 - ⑮体験学習への扉をひらく(午後の部)
 - ⑯「1 億円のプロデュース」
- 【特別ワークショップ】
バーム油のはなし ～開発教育入門講座～
- 【早朝 WS】
①早朝ジョギングワークショップ
②センス・オブ・ワンダーって、こんなに楽しく気持ちいい
③清里ミニガイドツアー ぬしの木コース
- スライドプレゼンテーション・5 分で伝えるメッセージスライド
- JEEF 公開理事対談

(社)日本環境教育フォーラム清里ミーティング 2005(通算 19 回)

- キーワード：「自然を舞台にした環境教育は、持続可能な社会作りに具体的にどのように役に立ってきたのか」
■日時：2005 年 11 月 19 日(土)～21 日(月)
■参加人数：221 人
■主催：社団法人日本環境教育フォーラム
■主管：財団法人キープ協会環境教育事業部
■協力：山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター
■後援：環境省／文部科学省／国土交通省／経済産業省／林野庁／山梨県／日本環境教育学会
- 全体会：基調講演、5 分間スピーチ、パネルディスカッション【WS&体験 PRG】
①環境教育基礎講座(午前の部)
②自然学校って何だ？
③学校教育と環境教育
④ボードゲーム型の環境教育プログラム
⑤ひとりひとりの感性で自然を感じよう
～ネイチャーゲームでのんびりぶらぶら～
⑥セルフガイドシートを使用した、短時間、多人数対象プログラムの検証 ～セルフガイドシートの評価軸を作ろう～
⑦科学ってなんだろうと考えながら皆で遊ぼう！
～低学年向けの GEMS プログラムを通して～
- ⑧森林療法
⑨プロジェクト WET 体験会(午前の部)
⑩環境教育基礎講座(午後の部)
⑪自然学校の評価に向けた人材養成
⑫小さな町村での自然学校の役割と可能性を探る
⑬CSR と環境教育
⑭おいしく食べ続けていける社会づくりは・・・
⑮里山で音楽会
⑯樹木年輪から樹の声を聴く方法！ ～過去からの環境の変化を辿る～
⑰プロジェクト WET 体験会(午後の部)
⑱科学と環境教育 見直そう！あなたのインタプリテーション～持続可能な社会づくりに自然科学知を活かすために
- 【早朝 WS】 ①早朝ジョギングワークショップ
②座禅&ヨガ
③清里ミニガイドツアー
- スライドプレゼンテーション・5 分で伝えるメッセージスライド
- JEEF 活動報告

(社)日本環境教育フォーラム清里ミーティング 2006(通算 20 回)

(回)

- 日時：2006 年 11 月 18 日(土)～20 日(月)
■参加人数：224 人
■主催：社団法人日本環境教育フォーラム
■主管：財団法人キープ協会環境教育事業部
■協力：山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター
■後援：環境省／文部科学省／国土交通省／経済産業省／林野庁／山梨県／日本環境教育学会
- 全体会「日本の環境教育 この 20 年を振り返る」基調講演
■学長鼎談「大学と環境教育」
- 【WS&体験 PRG】
①自然学校を事業化する
～20 年間に自然学校は何を獲得したのか～
②団体・組織におけるリスクマネジメントを考える
③あなたにとって食育ってなに？
④環境教育基礎講座
⑤新型の起業研修を応用したスタッフ研修ゲーム
⑥学びとコミュニケーション
～GEMS プログラムの体験を通して～
⑦ESD の実践のポイントを探る
～みんなで話せばわかってくる!?～
⑧森林環境教育のすすめ ～木が好きになるプログラム～
⑨50 分プレゼンテーション(午前の部)
⑩企業と NPO との協働を考える戦略会議
⑪環境教育と ESD(持続可能な開発のための教育)の関係性を探る
⑫環境教育と地域づくり
⑬環境教育仕事塾
⑭行政との連携を考える

- ⑫太鼓で太古に退行するぞ！
 - ⑬木から樹を知る方法 ～木材を IP にいかす～
 - ⑭セルフガイドで使えるしかけ展示のモデルをつくらう
 - ⑮50 分プレゼンテーション(午後の部)
 - ⑯自然への感動を生み出し、ライフスタイルの転換を促す
科学的知識の伝え方
 - ⑰感性？科学？どっちのインタプリテーションショー
- 【早朝 WS】 ① 早朝ジョギングワークショップ
② 環境質問 ～答えのない問題～
③ ロシアからやってきた冬鳥を探してみませんか
④ 清里ミニガイドツアー
⑤ 清泉寮 朝さんば
- 環境ショート映像作品上映会
 - 今後の戦略会議
 - スライドプレゼンテーション

(社)日本環境教育フォーラム清里ミーティング 2007(通算 21 回)

回)

- 日時：2007 年 11 月 17 日(土)～19 日(月)
 - 参加人数：230 人
 - 主催：社団法人日本環境教育フォーラム
 - 主管：財団法人キープ協会環境教育事業部
 - 協力：山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター
 - 後援：環境省／文部科学省／国土交通省／経済産業省／林野庁／山梨県／日本環境教育学会
 - 省庁プレゼンテーション
 - 全体会：「生物多様性」基調講演
・第 3 次生物多様性国家戦略が目指すもの
・企業が取り組む生物多様性保全
- 【ワークショップ】
- ①「生物多様性」の見つけ方・伝え方
～自然体験活動を、生物多様性保護の教育活動に結びつける実際の
方法～
 - ②行政との協働を考える
 - ③学ぶ環境としてのコミュニケーション ～GEMS とゴードンメ
ソッド～
 - ④食育コミュニティをつくらう！
 - ⑤どこでもインタプリテーション！ ～グッズ展開型 IP～
 - ⑥関西発！これからは日本的でいい！！
 - ⑦新型の企業研修を応用したスタッフ研修ゲーム
スピード・ソリューション～自然学校版～
 - ⑧企業、NPO、学校の連携による環境教育を考える
 - ⑨ツリークライミング？ 樹上の世界から学ぶこと
 - ⑩50 分プレゼンテーション
 - ⑪企業と環境 NPO との協働を進める戦略会議
 - ⑫ESD を広める人のための「ESD 入門講座」
 - ⑬環境教育基礎講座
 - ⑭生物多様性と環境教育について
 - ⑮科学と環境教育 自然体験からライフスタイルの転換へ
～ヤマネのプログラム体験を通じて～
 - ⑯メディアと自然学校
 - ⑰環境経営戦略ゲーム体験会
 - ⑱体験型展示物を評価しよう
 - ⑲エコツーリスト予備軍を探せ・つかめ・そして楽しめ！
 - ⑳障害者と共に楽しみ・学ぶ森林環境教育
 - ㉑やってみよう!!体感ツリークライミング㉒の世界
- 【早朝 WS】 ① 早朝ジョギングワークショップ
② センス・オブ・ワンダーを楽しむ散歩
③ 清里ミニガイドツアー
- 今が旬の活動事例紹介
 - スライドプレゼンテーション
 - 今後の戦略会議
 - JEEF(日本環境教育フォーラム)の集い
 - JEEF 理事の何でも相談所

(社)日本環境教育フォーラム清里ミーティング 2008(通算 22 回)

- 日時：2008 年 11 月 15 日(土)～17 日(月)
 - 参加人数：192 人
 - 主催：社団法人日本環境教育フォーラム
 - 主管：財団法人キープ協会環境教育事業部
 - 協力：山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター
 - 後援：環境省／文部科学省／国土交通省／経済産業省／林野庁／山梨県／日本環境教育学会
 - 全体会：「日本型環境教育の知恵 出版記念」
～日本型環境教育とは～
- 【ワークショップ】
- ①科学と環境教育 ヤマネに学ぶエコロジカルな暮らし方
 - ②生き物との共生について ～どんな共生があるのか～
 - ③環境教育&ESD を”広げる×深める”政策を考えよう
 - ④お互いの関係を作るコミュニケーションスキル
 - ⑤社会人大学院生&興味ある人集まれ！
 - ⑥エコとエネをつなぐ環境教育を考える
 - ⑦森林環境教育と Project Learning Tree
 - ⑧環境教育を評価する「環境教育を棚卸しましょう」
 - ⑨企業・NPO・学校の連携による環境教育を考える
 - ⑩企業のための環境 NPO カタログ編集会議
 - ⑪どうする！《限界集落》またの名は《上流社会》

- ⑫科学と環境教育総集編 科学と環境教育の関わりを定義する
 - ⑬オオパコずもうで勝つ方法！理学系研究室の自然体験
 - ⑭川遊びのルールを広めよう
 - ⑮日本型、日本的を考える ～日本の自然観という視点～
 - ⑯地球環境カードゲーム マイアースを遊び尽くす
 - ⑰障害者と共につむぐ環境教育の企画をつくる！
 - ⑱森づくりのための戦略会議 ～行政・企業・NPO の協働～
- 【早朝 WS】
- ①砂鉄から鉄を作ろう！ 柏崎の製鉄遺跡と自然のかかわり
 - ②映画「西の魔女が死んだ」 おばあちゃんのお家ツアー
 - ③清里の森で宝物発見
 - ④ロシアから渡ってきた鳥と出会しましょう
 - ⑤清里ミニガイドツアー
- 環境教育プレゼンテーション
 - 今後の戦略会議
 - JEEF(日本環境教育フォーラム)の集い
 - JEEF 理事の何でも相談所

(社)日本環境教育フォーラム清里ミーティング 2009(通算 23 回)

回)

- テーマ：「生物多様性」～環境教育の役割～
 - 日時：2009 年 11 月 14 日(土)～16 日(月)
 - 参加人数：193 人
 - 主催：社団法人日本環境教育フォーラム
 - 主管：財団法人キープ協会環境教育事業部
 - 協力：山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター
 - 後援：環境省／文部科学省／国土交通省／経済産業省／林野庁／山梨県／日本環境教育学会
 - 全体会
・基調講演「生物多様性」とは何か？ 行政・企業・NGO から
・事例紹介「生物多様性 私はどう伝える」
・全体ディスカッション
- 【ワークショップ】
- ①自然体験型環境教育基礎講座
 - ②多様な生物の声を聴く～全生命の集いワークショップ～
 - ③科学的な視点を活かした環境教育のプログラム作り
 - ④企業、NPO、学校の連携による環境教育を考える
 - ⑤社会人大学院生&興味ある人集まれ！Part2
 - ⑥風が吹けば桶屋が儲かる 生物多様性ゲームトライアル
 - ⑦バーマカルチャーと環境教育
 - ⑧幼児～小 2 に伝える生物多様性～生物多様性の形を探る～
 - ⑨ビクターセンターを運営側から考え創る方法
 - ⑩あなたにとって、生物多様性って何？
 - ⑪生物多様性に焦点を当てたプロジェクト・ワイルド体験
 - ⑫人間界に多様性は確保されているか
 - ⑬日本の森林環境教育と Project Learning Tree
 - ⑭どうプログラム化しよう？自然学校の「エネルギー」
 - ⑮風が吹けば桶屋が儲かる 生物多様性ゲームトライアル
 - ⑯日本的、アジア的自然観を整理し、環境教育に活かす
 - ⑰エコとエネをつなぐ環境教育を考える Part2
 - ⑱事故防止～注意を促すだけでいいの？実践的予防安全法
 - ⑲トランジションタウンとは何か？都留での試み
- (注)⑦川遊びを始めよう！～川の安全管理トレーニング～ は、都合により中止
- 【早朝 WS】
- ①生物多様性を映像で感じよう ～いっしょに生きる道～
 - ②映画「西の魔女が死んだ」 おばあちゃんのお家ツアー
 - ③ゼロからの火おこし術
- 環境教育プレゼンテーション
 - 当日募集ワークショップ
 - JEEF(日本環境教育フォーラム)の集い
 - JEEF 理事の何でも相談所

※2010 年 6 月 公益社団法人への移行認定を取得、
公益社団法人日本環境教育フォーラムへ。

(公社)日本環境教育フォーラム清里ミーティング 2010(通算 24 回)

- テーマ：「いのちをつなぐ環境教育」
 - 日時：2010 年 11 月 13 日(土)～15 日(月)
 - 参加人数：177 人
 - 主催：公益社団法人日本環境教育フォーラム
 - 主管：財団法人キープ協会環境教育事業部
 - 協力：山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター
 - 後援：環境省／文部科学省／国土交通省／経済産業省／林野庁／山梨県／日本環境教育学会
 - 全体会
・基調講演「生物多様性条約第 10 回締約国会議の結果」
・提案「生物多様性保全に果たす ESD の取組について」
・提案「What is CEPA??」
・取組紹介「環境省における ESD の取組について」
・全体ディスカッション
- 【ワークショップ】
- ①自然体験型環境教育基礎講座 ※
 - ②日本の自然観から考える環境教育
 - ③農的暮らしの学校
 - ④自然感を耕す：人は心を、畑は土を、森はデザイン感を
 - ⑤生物多様性まんだらカードゲーム体験会
 - ⑥生物多様性条約の CEPA って何だ？

- ⑦企業、NPO、学校の連携による環境教育を考える
 - ⑧エコとエネをつなぐ環境教育を考える Part3
 - ⑩「サステナビリティ」の基本はこれだ！ ※
 - ⑪これだけは知っておきたい！生物多様性の基礎知識 ※
 - ⑫生物多様性を普及する環境教育を目指して
 - ⑬森を考える～木質バイオマスで 100 年先の森づくり～
 - ⑭大学生のための食育プログラム
 - ⑮命をいただく～ニワトリと生きる～
 - ⑯エコロジカル・シンキングゲーム
 - ⑰「地球交響曲第 7 番」を見て、みんなで語ろう！
 - ⑱イナカとこどもと日本の未来を考える
 - ⑲企業の行なう自然体験活動と地域のつながりを考える
- ※の印は、主催者企画ワークショップ
(注) ⑨海外での環境教育(保全)活動を日本でどう伝えていくかは、都合により中止

【早朝 WS】

- ①バードコールハイク
- ②多様性を感じる観察会
- ③ゼロからの火おこし術
- ④朝飯前の手仕事
- ⑤朝日をあびつつ、ミルクティー飲んでごあいさつ
- ⑥生き方を学ぶ自然観察
- ⑦ノルディックウォークで早朝散歩
- ⑧映画「西の魔女が死んだ」 おばあちゃんのお家ツアー
- ⑨みみをすませば～みんなであつくるいのちのものがたり～
- 環境教育プレゼンテーション
- 当日募集ワークショップ
- JEEF(日本環境教育フォーラム)の集い
- JEEF 理事の何でも相談所

【(公社)日本環境教育フォーラム清里ミーティング 2011(通算 25 回)】

- テーマ：「これからの日本の復興に環境教育がどういう役割を果たすのか」
- 日時：2011 年 11 月 19 日(土)～21 日(月)
- 参加人数：188 人
- 主催：公益社団法人日本環境教育フォーラム
- 主管：財団法人キープ協会環境教育事業部
- 協力：山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター
- 後援：環境省／文部科学省／国土交通省／林野庁／経済産業省／山梨県／日本環境教育学会
- 全体会 1
 - ・パネルディスカッション
 - 「これからの日本の復興に環境教育がどういう役割を果たすのか」
- 【ワークショップ】
 - ①自然体験型環境教育基礎講座 ※
 - ②企業・NPO・学校連携の環境教育を考える VOL.2
 - ③質的データ分析(QDA)という手法を学ぶ
 - ④農的暮らしの自然学校
 - ⑤森林療法にできること～森林セルフケアの可能性
 - ⑥里山応援ネットワークを作ろう！ワークショップ
 - ⑦0 から仕事を作る～体験からチームを作る～
 - ⑧『ワールドカフェ～自分発！未来をかえる価値観考～』
 - ⑨修験道×環境教育～音色と歩き、体で精神性を感じる～
 - ⑩震災救援組織(RQ 市民災害救援センター)の作り方 ※
 - ⑪ESD×CSR：サステナビリティ教育指針を体感！ ※
 - ⑫やったらできた！エネルギー系企業と弱小 NPO のコラボ
 - ⑬環境と文化・歴史・科学 etc.の複合…「旧暦」入門
 - ⑭自然感を耕す 自分と里地里山里水が元気になるワーク
 - ⑮生物多様性まんだらカードゲーム 今年は小学生版
 - ⑯PLT, WILD, WET の日本での可能性を考えよう
 - ⑰日本的、アジア的自然観を整理し、環境教育に活かす
 - ⑱原発と環境教育～思ったことを話すことからはじめよう～
 - ⑲狩猟×環境教育～森と野生動物と人のつきあい方～

※の印は主催者企画ワークショップ

【早朝 WS】

- ①ゼロから始める火起こし術
- ②森林療法的プログラム体験～樹林気功と運動療法
- ③冬鳥と出会って、いのちを感じる
- ④キープ協会「アニマルバスウェイ」見学ツアー
- 環境教育プレゼンテーション
- 当日募集ワークショップ
- 人と組織の紹介処

【(公社)日本環境教育フォーラム清里ミーティング 2012(通算 26 回)】

- テーマ：「アジアの一員として、日本が今できること～think global actlocal:『リオ+20』の年に考える～」
- 日時：2012 年 11 月 17 日(土)～19 日(月)
- 参加人数：177 人
- 主催：公益社団法人日本環境教育フォーラム
- 主管：公益財団法人キープ協会環境教育事業部
- 協力：山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター
- 後援：環境省／文部科学省／国土交通省／林野庁／山梨県／日本環境教育学会
- 全体会
 - 「アジアの一員として、日本が今できること～think global actlocal:『リオ+20』の年に考える～」
 - ・基調講演「リオ+20 の概要と、NGO の成果と課題」

- ・パネルディスカッション
- 「これからの日本の復興に環境教育がどういう役割を果たすのか」
- 【ワークショップ】
 - ①自然体験型環境教育入門講座
 - ②自然学校人事担当養成講座～ほしい人材を育てよう～
 - ③実施無し
 - ④ブーさんの森をデザインしよう！
 - ⑤考えよう！伝えよう！森の”いのち”の知恵と力
 - ⑥食から考える価値と暮らし
 - ⑦ねん土をつかって、超ミニアースオープンをつくろう！
 - ⑧農村と若者～そと者、若者による農山村の活性化～
 - ⑨一次産業と社会貢献事業～金の切れ目が本気のはじまり
 - ⑩「住み開き」を考えよう ～身近に環境教育の場をつくる～
 - ⑪「都市と自然の融合～両方見て、初めて見える環境教育！～」
 - ⑫木質バイオマスを首相官邸へ～さらなる普及をめざして～①
 - ⑬地域に根ざすということについて PBE への招待
 - ⑭田舎で生きる！ライフモデル作りワークショップ
 - ⑮バタゴニアから学ぶ！持続可能な働き方と歩み方
 - ⑯環境教育×植物療法～自然の恵みをヒトの力に～
 - ⑰都市型環境教育 小学生向け紫外線プログラム体験
 - ⑱文学から見た農的暮らしの可能性
 - ⑲理想のシゴト？自然学校職員の本音と未来像
 - ⑳身近な環境の総合的「明察」…内なる「マイ暦」を作ろう！
 - ㉑農が X を助け、X が農を助ける～半農半 NPO でいこう～
 - ㉒エコとエネのつながりを考えるカードゲームワークショップ
 - ㉓森で教える国語・算数・理科・社会をつくっちゃおう！
 - ㉔木質バイオマスを首相官邸へ～さらなる普及へ向けて～②

【早朝 WS】

- ①科学と環境教育プログラム「静岡のなりたち」
- ②みどりとともにだちに！泥んこ遊び de 苔玉作り
- ③キープ協会「アニマルバスウェイ」見学ツアー
- 環境教育プレゼンテーション
- 当日募集ワークショップ
- 人と組織の紹介処

【(公社)日本環境教育フォーラム 清里ミーティング 2013(通算 27 回)】

- 日時：2013 年 11 月 16 日(土)～18 日(月)
- 参加人数：204 人
- 主催：公益社団法人日本環境教育フォーラム
- 主管：公益財団法人キープ協会環境教育事業部
- 協力：山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター
- 後援：環境省／文部科学省／国土交通省／経済産業省／林野庁／山梨県／日本環境教育学会
- 全体会
 - ・キーノートスピーチ
 - ・ワールドカフェ方式ディスカッション
 - ・「環境教育に関わる諸団体から最新のメッセージを聞く」
- 【ワークショップ】
 - ①自分の仕事を創る技術～IP の新しい可能性を考える～
 - ②地域に根ざした環境教育 Place-Based-Education
 - ③モミでご飯をたこう！～空き缶で「ミニかまど」づくり～
 - ④宇宙船地球号体感インプリ：20 世紀天文少年の誘い
 - ⑤環境教育をカードゲームで考えてみよう～エネルギー編
 - ⑥「原発事故のはなし 3」デモとディスカッション
 - ⑦質的データ分析(QDA)を体験してみよう
 - ⑧企業と NGO の幸せな関係をながく続ける秘訣
 - ⑨楽器を使ったプレゼンテーションを考えよう
 - ⑩知っておきたい基礎知識～命・自然・地球・宇宙～
 - ⑪日常の現場や暮らしに持ち帰る「運営と振り返り」
 - ⑫持続可能な地域のための必要なしくみを考えよう
 - ⑬継承したい日本の自然観～自然体という生き方～
 - ⑭事例から学ぶ ESD(持続発展教育)の基本と実践
 - ⑮ゲームで生態系を学ぼう！
 - ⑯ウィルダネスファーストエイド～仲間を守るその技術～
 - ⑰パフォーマンス評価の世界の潮流
 - ⑱15 年のノウハウ伝授！身近な素材でプログラムづくり
 - ⑲小学校で環境教育やりたい人 集まれ！
 - ⑳伝える技術 KP 法(紙芝居プレゼンテーション法)

【早朝 WS】

- ①アイソン彗星いつ観るか…清里、澄んだ空…今でしょ！
- ②ロシアからの旅人に会おう
- ③清里トレラン

【特別企画】

- ・アクアマリンふくしま移動水族館
- 【自主企画】
 - ・プレゼンテーションで世界を変える！～TED の世界～
 - ・野外フェスは環境教育のツールになりえるか！？
 - ・スマホ、テレビゲームの年齢制限でも考えてみよう
 - ・JEEF 理事バンド(バンド演奏)

■10 分プレゼンテーション

- 当日募集ワークショップ
- 人と組織の紹介処

【(公社)日本環境教育フォーラム清里ミーティング 2014(通算 28 回)】

- テーマ：「ESD の 10 年後の環境教育」
- 日時：2014 年 11 月 15 日(土)～17 日(月)
- 参加人数：186 人
- 主催：公益社団法人日本環境教育フォーラム
- 主管：公益財団法人キープ協会環境教育事業部
- 協力：山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター

■後援：環境省／文部科学省／林野庁／山梨県／
日本環境教育学会

■全体会

- ・キーンノートスピーチ
- ①自然の中で遊ぶゲーム
- ②再び、地域に根ざした環境教育(PBE)について
- ③企業のESDのあり姿/あるべき姿を考えよう
- ④「協働」による里山再生の取り組み～〇〇×〇〇〇～
- ⑤エネルギー大臣になろう～ゲームで考える環境教育～
- ⑥ウィルダネスファーストエイド～仲間を守るその技術
- ⑦楽器を使ってプレゼンテーションしよう
- ⑧語ろう！考えよう！「企業のESD宣言」
- ⑨電子絵本を活用したESDプログラムを考える
- ⑩国連の新目標(SDGs)は環境教育普及につながる？
- ⑪体感、出航！宇宙船地球丸「苦手は天文」ぶっ飛ばせ
- ⑫“自然学校と林業”環境教育は暮らし生業に直結せよ！
- ⑬イノベーション創発型ワークショップのデザインを学ぶ
- ⑭清泉寮で自然音楽野外フェスティバルをつくる
- ⑮教育と刃物～ナイフを使う喜びを子どもたちに！
- ⑯シニア自然大学を作ろう
- ⑰自己肯定感を育むESD～これからの学びへの提案～
- ⑱GEMSの新しい使い方～森の中で図書館の片隅で～
- ⑲KP法(紙芝居プレゼンテーション法)の工夫共有ワークショップ
- ⑳小学校で環境教育をやろう！PartⅡ

【早朝 WS】

- ①朝の楽しい修行：ヨガと勤行
- ②環境教育と持続可能な開発の日米比較研究中間報告②
- ③エンカウンターグループ「今ここ」
- ④清里朝散歩

■10分プレゼンテーション

■当日募集ワークショップ

■人と組織の紹介処

【(公社)日本環境教育フォーラム 清里ミーティング 2015(通算 29 回)】

■テーマ：「地域をつくる環境教育」

■日時：2015 年 11 月 14 日(土)～16 日(月)

■参加人数：174 人

■主催事務局：公益社団法人日本環境教育フォーラム

■現地開催事務局：公益財団法人キープ協会環境教育事業部

■協力：山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター

■後援：環境省／文部科学省／林野庁／山梨県／日本環境教育学会

■特別協力：環境省グッドライフアワード

■全体会

- ・キーンノートスピーチ「農的生活学校の学び方」
- ・ワールドカフェ方式ディスカッション「地域をつなぐ環境教育」
- ・「世代を超えて一緒に〇〇おう！」

【ワークショップ】

- ①広範囲に拡散した外来種の市民による調査と駆除対策
- ②獣害問題は、環境教育の対象になるのか。
- ③エネルギー大臣になろう！～ゲームで考える環境教育～
- ④ご当地 GEMS～地域に根差したアクティブ・ラーニング～
- ⑤自然学校の 30 年を振り返りこれからの 20 年を考える
- ⑥環境教育の基礎…自然とは？命とは？
- ⑦「PBE：地域に根ざした学び」を考える
- ⑧「若者が地域で生きる・暮らす」を考える 3 時間
- ⑨里山ってなんだろう～その意味、価値を考える～
- ⑩野生生物と共生する環境地域づくりの進め方
- ⑪持続可能な未来のための科学技術とのつきあい方
- ⑫サステイナブル・ツーリズム国際基準を自然学校に！
- ⑬体感,出航！宇宙船地球丸。「天文は苦手」吹っ飛ばせ
- ⑭探そう磨こう！環境教育の魅力を伝えるコトバ
- ⑮野外フェスに環境教育を広げる『NATCU FES』
- ⑯地域が蘇る“森林資源を循環させる経済”を考える
- ⑰廃校利用の自然学校の経営
- ⑱ビギナーのための自然体験型環境教育プログラム

【早朝 WS】

- ①朝の楽しい修行：ヨガと瞑想と歌
- ②手づくりのもみ殻コンロ、ペール缶ぬかくどの実演！
- ③ロシアからの旅人と再会しよう～冬鳥との出会いを求めて～
- ④清里朝散歩

■10分プレゼンテーション

■当日募集ワークショップ

■人と組織の紹介処

・基調報告 テーマ【ESD ユネスコ世界会議を終えて】

・ワールドカフェ方式ディスカッション【私と ESD】

【ワークショップ】

清里ミーティング 2016 報告書

発行者: 公益社団法人日本環境教育フォーラム (JEEF)

〒116-0013

東京都荒川区西日暮里 5-38-5 日能研ビル 1 階

TEL : 03-5834-2897 FAX : 03-5834-2898

URL : <http://www.jeef.or.jp/>